

服用に際しては、この説明文書を必ずお読みください。
また必要な時に読めるように大切に保管してください。

第2類医薬品

せきの症状に
咽頭の乾燥感、からぜき、気管支炎

商品番号

A002

漢方製剤

満量・麦門冬湯

バク モン ドウ トウ

エキス細粒V「コタロー」

気道に潤いがなく乾燥すると、痰がのどにへばりついて出しにくくなり、コンコンと乾いたせきが出やすくなります。麦門冬湯は気道を潤し、からぜきなどの症状を改善する漢方薬です。

満量・麦門冬湯エキス細粒V「コタロー」は、気管支炎や気管支ぜんそくなどで、せきを頻発したり、痰が粘くて切れにくいせきに用いられます。また、のどの痛みやのどの使い過ぎによる声がれにも適しています。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください

生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1)医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)水様性の痰の多い人。
- (4)高齢者。
- (5)次の症状のある人。

むくみ

(6)次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、腎臓病

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 1ヵ月位（からぜきに服用する場合には1週間位）服用しても症状がよくなり
ない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売
者に相談してください

4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

【効能・効果】

体力中等度以下で、たんが切れにくく、ときに強くせきこみ、又は咽頭の乾燥感があるものの次の諸症：
からぜき、気管支炎、気管支ぜんそく、咽頭炎、しわがれ声

【用法・用量】

食前又は食間に服用してください。
食間とは……食後2～3時間を指します。

年 齢	1 回量	1 日服用回数
大人（15歳以上）	1 包	3 回
15歳未満 7 歳以上	2 / 3 包	
7 歳未満 4 歳以上	1 / 2 包	
4 歳未満 2 歳以上	1 / 3 包	
2 歳未満	1 / 4 包	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2)1 歳未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。

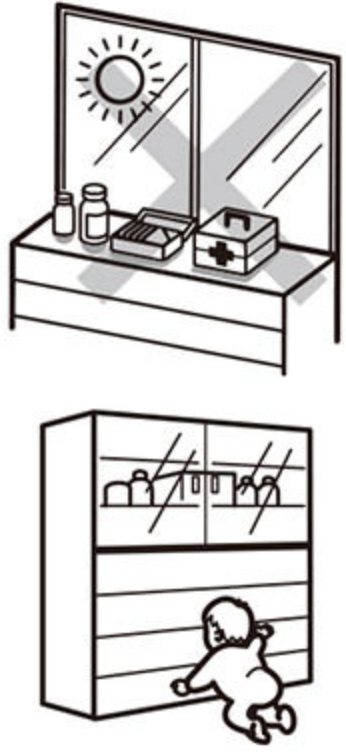
【成分・分量】

成分・分量（本剤 3 包中）			
バクモンドウ	10.0 g	タイソウ	3.0 g
ハンゲ	5.0 g	ニンジン	2.0 g
コウベイ	5.0 g	カンゾウ	2.0 g
より抽出した麦門冬湯エキス散8.48 g を含有しています。			

添加物として含水二酸化ケイ素、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウムを含有しています。

【保管及び取扱い上の注意】

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
（誤用の原因になったり品質が変わることがあります）
- (4)水分が付きますと、品質の劣化をまねきますので、誤って水滴を落したり、ぬれた手で触れないでください。
- (5)1 包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2 日以内に服用してください。
- (6)使用期限を過ぎた商品は服用しないでください。



本剤は生薬を原料としていますので、商品により多少色が異なることがありますが、品質・効果に変わりはありません。

商品内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店、又は下記にお願い申し上げます。
小太郎漢方製薬株式会社 医薬事業部 お客様相談室
大阪市北区中津2丁目5番23号 TEL06(6371)9106
受付時間 9:00～17:30(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<https://www.pmda.go.jp/>
☎フリーダイヤル0120(149)931

製造販売元 漢方をよりよく より多くの人に
 **小太郎漢方製薬株式会社**
〒531-0071 大阪市北区中津2丁目5番23号
TEL 06 (6371) 9106